

県民の友

発行/和歌山県 知事公室 広報公聴課 〒640 和歌山市小松原通1の1 0734(32)4111

昭和57年
4月号

一今月号の主な内容

- 昭和57年度の予算のあらまし 2~3面
- ファミリープラザ 4~5面
- こんなときは? 「国民年金に加入したいのですが」 6面
- ふるさとの歴史 8面



きらめく海、山、川
かよう心を大切に。
より住みよい郷土を
みんなの手で――
和歌山県



昭和57年度 県の予算



――今年度の予算編成で、基本としたことは何ですか。

仮谷知事 昨年度は「活力元年」と位置づけ、県民のみなさんの協力を得ながら、県政あげて県経済の浮揚に取り組

この四月から、昭和五十七年度が始まります。県は、これから的一年間、県民生活の一層の向上を願つて、いろいろな仕事に取り組んでまいります。これらの仕事の裏付けになるのが昭和五十七年度の県予算です。そこで、新年度にかかる抱負と予算編成の基本方針などを仮谷知事に聞きました。

などをいまいました。

国内外は誠にきびしい経済情勢の中にはありますが、今年度は、私の第二期県政の総仕上げの年でもあり、昨年の活力元年に弾みをつけて「県勢の発展、県経済の浮揚」を念頭に「活力二年目、躍動の年」とするための予算を組みました。

基本目標は「活力あふれるふるさとづくり」安心できるくらしづくり「明日をひらくひとづくり」の三つで、なかでも特に「活力あふれるふるさとづくり」を中心をおき、これから将来にわたって若者たちが、ふるさと和歌山の地で自信と希望を持って働けるような郷土づくりをすすめてまいりたいと思います。

――行政改革のさけばれるなかでの予算編成ということで、苦心されたと思いましたが。

知事 行財政改革の推進の一環として昭和五十七年度の国の予算は、いわゆるゼロ・シーリングで徹底しました。

創意工夫で

多くの新規事業

――予算編成にあたって、行政改革を具体的にどのように

知事 予算編成の基準に初めて盛り込みました。

フレッシュアップ

これまでの制度や事業を総点検する一方、新規事業の創設に創意工夫しました。

具体的には、各部局の既存事業を九十五%に抑え、これまでの制度や事業を全面的に見直し、五%以上の新規事業を生み出すようにしました。

この事業見直しによって新

企業誘致の推進や

交通網の整備

――「としを躍動の年とするための主な事業を紹介して下さい。

知事 産業を発展させ、雇用の拡大を図るために、企業誘致は、どうしても必要な緊急の課題です。

そのための企業立地の可能性の調査を行うこととし、また企業の導入および産業の近代化に必要な事業等に助成することとしました。さらに、県内産業のために工業用団地づくりなどをすすめることとされています。

また、地場産業対策として低迷を続ける県内企業に対して不況や連鎖倒産を防止する

交通網の整備については、高速道路を紀南へ向けて一日も早く延長するよう一層力を入れてきます。

また、国道二十四号バイパスの建設や和歌山大阪間を結ぶ高速道路、かねてから懸案の和歌山線の電化などの交通網の整備、和歌山下津、日高、新宮港など港湾の整備にも積極的に取り組んでいきます。

また、本県の温暖な気候を利用して、紀北、紀南を一体化し、年間を通じて花きの栽培出荷を行なう「黒潮フラー

ライン産地化推進事業」をすすめます。

福祉和歌山の建設へ

――福祉対策はどうですか。

知事 きびしい社会経済情勢のなかで、その影響を最も強く受けられる人々に対しては、一層きめこまやかな配慮をしていかねばなりません。福祉対策は一步も退くことはできな

いばかりでなく、なお一層の向上を図り「福祉和歌山」の建設をすすめていく決意を新たにしています。

たとえば、老人福祉の向上のため、県単独の老人医療費助成事業の継続や、本年度か

ら新たに設けた重症心身障害児の施設整備の補助事業などを行なっています。

同和対策についても「同和対策事業特別措置法」後の新たな五年間の時限立法「地域改善対策特別措置法」(案)が、今後も実現する見込みです。そこで、同和問題の完全解決のため一層積極的に取り組んでいきます。

(これは、二月二十三日に知事にインタビューしたもの)

規事業は二百四件(昭和五十六年度の一・三倍)を数えます。

なお、職員の定数は、計画的に削減に取り組むことにし

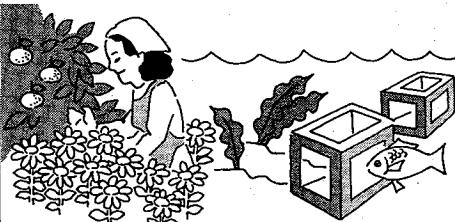
て、昭和五十年代以来、年間約二億円程度の人員費の節減を見込んでいます。

活力あふれる ふるさとづくり

※ここでは、県政の基本目標に沿って組まれた事業のうち新規のものを中心に掲載しました。
◎印は新規事業。金額は、10万円単位で四捨五入。

働きがいと 秩序ある産業の発展

- ◎落葉果樹、かんきつの複合生産団地の基盤および集出荷施設の整備 7,500万円
- ◎地域特産の果実などをつくっていくための模索研究実証園等の設置運営（県下で15地域） 2,300万円
- ◎黒潮フラワーライン产地化推進事業 7,000万円



- ◎農業近代化資金（融資枠38億円）の利子補給補助 4億8,500万円
- ◎農村青年の交流促進 200万円
- ◎林道の整備 25億5,000万円
- ◎木材製品の需要を促進するよう間伐材等の展示や木材需要キャンペーンを実施 800万円
- ◎生産性の高い高能率な林業経営のパイロットとなる代表的なモデル団地の育成（2団地） 1,400万円
- ◎グリーンリーダー養成 200万円
- ◎森林病害虫防除 2億3,000万円
森林を守るために松くい虫の総合防除対策
- ◎漁港の整備 39億8,000万円
- ◎熊野灘周辺に海域総合開発事業として超大規模魚礁などを設置する。 3億6,000万円
- ◎遊漁対策 100万円
釣人などにマナー向上のPRを行う
- ◎水産資源の増殖や養殖のための魚類（マダイ、カサゴ、ヒラメ等）の幼稚子を生産する施設の設置 6,000万円
- ◎漁業近代化資金（融資枠14億円）の利子補給等 1億5,400万円
- ◎中小企業金融諸制度の充実（融資枠314億4,300万円に必要な預託金を準備） 80億5,900万円
- ◎関連倒産の防止など不況対策資金（融資枠18億円） 6億円
- ◎産業フェア開催 1,500万円
- ◎皮革高品質化の研究促進 100万円
- ◎観光客誘致特別対策 8,400万円
- ◎広域観光圏の推進 400万円
ふるさとシンボル板を設置
- ◎求職者職場適応訓練 6,600万円
- ◎生涯職業訓練助成 500万円

調和と連帯のある 地域社会の形成

- 主要幹線街路の改良や橋りょう整備 13億800万円

◎公害や災害防止のための緩衝緑地を設置（和歌山市、第1期工事）

98億3,200万円

○新農村婦人の家設置 1,700万円

○新農業構造改善事業

7億1,400万円

○農道整備や水路整備など耕地事業

85億9,200万円

○新沿岸漁業構造改善事業

3億1,300万円

○活力ある山村づくり推進 3億円

ふるさと産品の創造や人づくり、定住環境の整備

○林業構造改善事業 7億3,100万円

○過疎地域に住民生活の拠りどころとなる「総合センター」建設に補助

900万円

○関西国際空港対策事業 1,800万円

○企業誘致 1億1,600万円

本県に適した企業の調査や、企業の導入および近代化に必要な事業に対する補助を行うための基金造成

○御坊田園テクノタウン構想の推進

1,100万円

○紀伊半島サミットで合意した総合交通体系の調査や観光ビジョンづくり

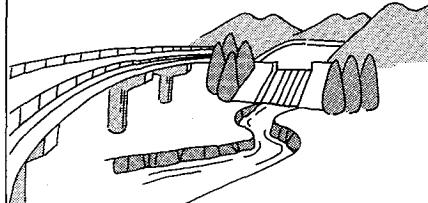
100万円

○高齢化社会の現状把握と将来予想の調査

500万円

豊かな郷土への基盤整備

- 南紀白浜空港に適する後継機や代替空港などの調査 1,500万円
- 高速道路紀南延長に関する調査 1,200万円
- 紀の川河口大橋建設設計のための道路公社への出資金 1,000万円
- 紀淡トンネル建設のための調査 500万円
- 国道24号和歌山バイパスの用地先行取得 10億円
- 高野龍神スカイライン関連道路の整備 29億6,000万円
- 県道などの整備 197億3,800万円
- 港湾の整備 38億9,300万円
- 港湾の計画調査 6,000万円
- 地方バス路線の運行維持対策 5億6,000万円
- テレビ難視聴対策 1,900万円
- 有望地域エネルギーについて開発利用の可能性調査 1,800万円
- 砂防ダムを水力発電、貯水などの広域に利用するための基礎調査 900万円
- 日高川総合開発「椿山ダム」の建設 125億9,600万円



基本目標達成に

2,943億円

県政の基本目標

明日をひらく ひとづくり

安心できる くらしづくり

活力あふれる ふるさとづくり

昭和五十七年度 予算のあらまし

活力あふれる 新鮮型予算

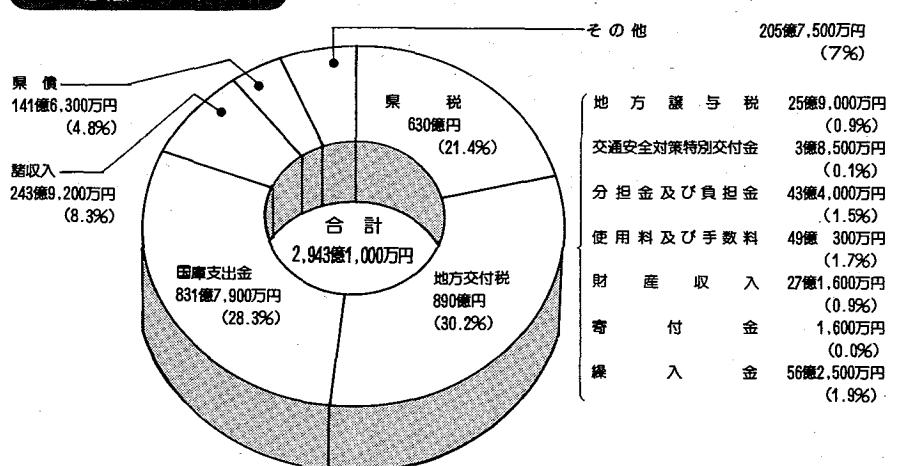
昭和57年度 予算の規模

一般会計	2,943億	998万円	(5.7%増)
特別会計	586億	232万円	(5.6%増)
企業会計	83億	9,939万円	(12.9%増)

予算総額 3,613億 1,169万円

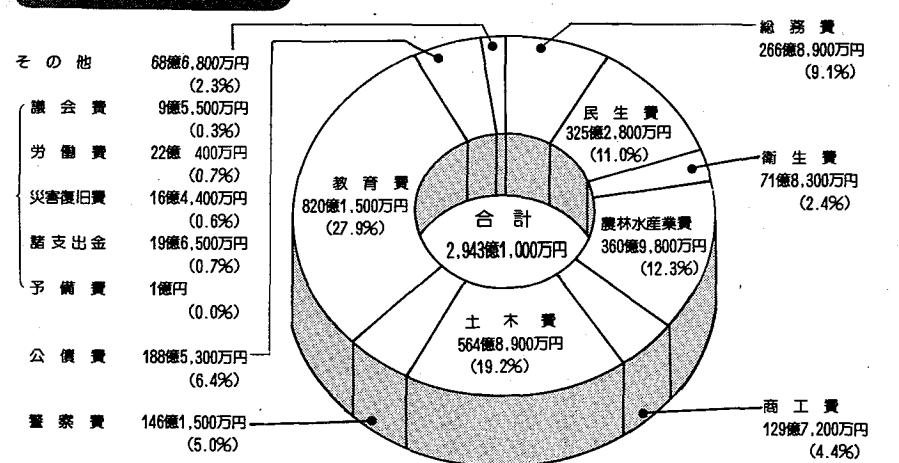
()は56年度との比較

一般会計 岁 入



※金額は10万円単位で四捨五入パーセントは構成比

一般会計 岁 出



などの特別会計がある。

● 地方自治体が特別の事業を行いう場合、その事業の歳入をもって歳出に充て、一般会計とは切り離して別に収支経理を行う会計のこと。

● 特別会計 地方自治体が特別の事業を行いう場合、その事業の歳入をもって歳出に充て、一般会計とは切り離して別に収支経理を行う会計のこと。

国が、地方自治体の支出する特定の経費について、その一定割合を支出するもの。国会議員の選挙など、国が仕事を代行する場合に支出される委託金。義務教育、道路整備など、国も重大な責任をもつ事業について、国と地方自治体がいわばワリカンで仕事をするために支出する負担金。国が地方自治体に仕事をすすめたり、財政援助のために出す補助金に大別される。

■ 国庫支出金
酒税の中から地方自治体にまわされる資金のこと。全国的に共通な行政について、地方財政の格差をなくし、一定の行政水準が保たれるよう各地方自治体の財源不足を補うもの。

国税三税（所得税・法人税・

● 地方交付税

酒税）の中から地方自治体にまわされる資金のこと。

予算の原案をつくり、県議会に提案、そこで審議、議決されて予算の誕生となる。

● 県予算の誕生
見通しを立てて、経済状況などの本方針および県民の要望に沿った施策を考え、それに見合った支出見込額を割り振る。歳出。知事が、この歳入歳出の予算の原案をつくり、県議会に提出。そこで審議、議決されて予算の誕生となる。

● 見通しを立てて、経済状況などの本方針および県民の要望に沿った施策を考え、それに見合った支出見込額を割り振る。歳出。知事が、この歳入歳出の予算の原案をつくり、県議会に提出。そこで審議、議決されて予算の誕生となる。

● 見通しを立てて、経済状況などの本方針および県民の要望に沿った施策を考え、それに見合った支出見込額を割り振る。歳出。知事が、この歳入歳出の予算の原案をつくり、県議会に提出。そこで審議、議決されて予算の誕生となる。

● 見通しを立てて、経済状況などの本方針および県民の要望に沿った施策を考え、それに見合った支出見込額を割り振る。歳出。知事が、この歳入歳出の予算の原案をつくり、県議会に提出。そこで審議、議決されて予算の誕生となる。

**昭和57年度
予算の重点項目**

① 活力ある県勢の基盤づくり

- 道路など社会資本の整備
- 県勢発展と県経済の浮上にとって、重要な役割を果す道路などの社会資本を積極的に整備。
- 一般公共事業費五百四十七億円（前年比一〇〇・四%）
- 県単独事業費二百十七億四千三百円（前年比一一一・五%）
- 南紀白浜空港の存続の適否、後継機問題、代替候補地の選定や規模などの調査
- 高速道路の紀南延長調査
- 紀の川河口大橋の建設調査設計
- 国道二十四号の交通渋滞解消の着手

② 福祉・くらしの充実

- 県勢に活力を注入するには、経済力を高めるのが先決。企業誘致のための受け皿づくりをはじめ、県内企業の振興をはかるための産業フェアの開催や金融制度の充実
- 日高川の総合開発の先行取得
- 和歌山バイパス（国道二十四号）の建設促進
- 和歌山バイパス（国道四十二号）の整備
- 高野龍神スカイライン関連道路
- 紀の川水系、貴志川流域の水の需給対策などの水資源開発調査
- 有田バイパス（国道二十四号）の整備
- 紅葉谷の整備
- 活力ある山村づくり、など
- 本県の温暖な気候は花栽培に最適。紀南・紀中・紀北を一体化して、花きの周年供給产地（黒潮フローラーライン产地）を計画的に育成
- 大規模魚礁を設置し海洋牧場をつくりていく海域総合開発基幹事業の推進
- 本県の温暖な気候は花栽培に最適。紀南・紀中・紀北を一体化して、花きの周年供給产地（黒潮フローラーライン产地）を計画的に育成
- 同和問題の完全解決のため、市町村と一緒に地域改善、教育、啓発事業や産業経済対策をすすめる。など
- 同和対策特別措置法の期限も三月末で切れ、新たに「地域改善対策特別措置法」が制定。
- ③ 教育、文化、スポーツの振興
- ④ その他

③ 教育、文化、スポーツの振興

- 紀南県民文化会館（仮称）の建設事業
- 白崎少年自然の家に体育館建設
- 国民体育大会の近畿地区大会開催など
- 高校の校舎整備
- 紀淡トンネル構想調査
- 自然保護センターを建設
- 警察署の建設（和歌山北署）
- 御坊田園テクノタウン構想の共同調査
- 紀伊半島サミットでの合意事項

④ その他の事業

- 母子、寡婦の家庭への大学入学金や結婚資金などの貸付
- 大規模年金保養基地の建設
- 常時コンピューターを利用し、一九番通報などの救急患者を早く的確に医療機関に収容す
- 給食問題、代替候補地の選定や規模などの調査
- 高速道路の紀南延長調査
- 紀の川河口大橋の建設調査設計
- 国道二十四号の交通渋滞解消の着手

明日をひらく ひとづくり

たくましく心豊かな県民の育成

- 高校の校舎増築や危険校舎の改築 18億5,500万円
- 高校のグラウンドなどの整備 1億6,400万円
- 吉備高校、貴和高校の施設等の整備 6億5,800万円
- 総合教育センター建設のための調査 500万円
- 私立学校振興のための助成 10億7,300万円
- 心でふれあう親子相談 200万円
- 青少年の健全育成のためのグループや個別の相談を実施
- 子ども会育成のため市町村に補助 1億5,400万円
- 紀南県民文化会館（仮称）の建設事業 4億円
- 県民文化祭の開催 3,300万円
- 自然博物館に盲人用展示コーナー設置 1,200万円
- 「母と子の船」事業 1,300万円
- 母親や父親と子どもが2泊3日の船内研修
- 白崎少年自然の家に体育館建設 1億6,300万円
- 第37回国民体育大会近畿地区大会（集中方式による第1回大会）を開催 900万円
- 和歌山東高校にスポーツセンター建築 2,900万円
- 地域住民のスポーツ振興をめざしたスポーツ開放センター
- 紀三井寺陸上競技場のトラックを全天候舗装に改修 2億7,000万円

安心できるくらしづくり

健康で安定した生活の確保

- 公営住宅を県内に 216戸建設 44億1,800万円
- 紀の川流域下水道の整備 8億円
- 比較的所得の低い人の持家取得を円滑にするための利子補給 200万円
- 県立自然公園内の特定民有地の買い上げ（生石高原と天神崎） 3,300万円
- 植物公園緑花センター内に自然保護センター建設 2,900万円
- 大規模年金保養基地（紀南福祉エリア）建設 9,500万円
- 老人医療費の助成 20億3,300万円
- ひとり暮らし、寝たきり老人対策 1億2,500万円
- 「老人の船」実施 1,600万円
- 保育所（10カ所）、児童館（5カ所）の建設整備に補助 3億9,400万円
- 障害児保育補助 2,400万円
- 母子や寡婦の家庭への高校修学資金大学入学支度金、結婚資金の貸付事業 2,300万円
- 寡婦等の生きがい対策として文化教養講座などを開催 200万円
- 身体障害者の経営する事業への近代化資金貸付事業 1,100万円
- 身体障害者住宅整備資金貸付事業 1,500万円
- 身体障害者の療護施設建設補助（橋本市） 4,600万円
- 精神薄弱者の通所授産施設建設補助（金屋町） 1,100万円
- 重症心身障害児の施設整備補助（和歌山市） 2億7,700万円
- 福祉施設の建設のための用地を取得 2億2,500万円
- 重度心身障害児（者）医療費支給事業 3億400万円
- 重度障害者（児）の福祉手当支給事業 3億7,800万円
- 公立病院の経営健全化のための融資事業（融資枠12億円） 6億円
- 救急医療情報センターの管理運営 1億7,700万円
- 救急医療対策事業 7,500万円
- 病院群輪番制実施 3,600万円
- 和歌山市地域、日高地域
- 健康保健センターの建設補助（野上町） 500万円
- へき地の医療対策 1億6,200万円

同和対策の推進

- 同和啓発活動の推進 1億7,100万円
- 隣保館活動助成事業 1億8,400万円
- 進学奨励事業 6億2,400万円
- 経済更生資金および金融指導 39億4,000万円
- 新規開業者への金融対策事業 17億600万円
- 産業対策指導 400万円
- 地区懇談会や共同作業所の指導
- 職業訓練手当支給事業 1億円
- 市町村同和対策事業債利子補給 4億7,900万円
- 環境整備事業に補助 35億6,700万円
- 自家住宅新築促進事業 6,700万円
- 同和対策推進指導 400万円
- 同和対策特別措置法にかわる新法の説明のための懇談会開催

同和対策事業と地方交付税

市町村が、同和対策事業を実施する場合には、原則として事業費の $\frac{2}{3}$ は国庫補助金が、 $\frac{1}{3}$ は地方債が財源とされます。このうち地方債は市町村の借金であり、後年度に返済しなければなりませんが、この元利償還金は、同和対策事業特別措置法第10条に基づき、その8割が普通交付税で措置されます。さらに、同和対策事業のなかで、国庫補助事業の公営住宅建設や市町村単独事業など普通交付税で財源措置のされないものは、特別交付税により市町村の財政負担の軽減が図られています。

なお、県下市町村に交付された同和対策事業にかかる特別交付税は、昭和55年度で約19億6,800万円、昭和56年度で約23億200万円でした。

春です。チャレンジしよう！

体力テスト

記録は台の上を0cmそれ以下を十何cmとする。(注)いつぱいまたところで三秒とめる。

●**持久性テスト**

台(三十五cmくらい)に図のように二秒一回の割で昇降し、三分間(九十回)つづけ、一分間休んでから三十秒間の脈拍を数える。(最高血圧150以上の人にはさけて下さい)。

●**踏台昇降**

台(三十五cmくらい)に図のように二秒一回の割で昇降の記入方法に従って、各テスト種目ごとに書き込みます。

●**理容師・美容師試験**

試験日・場所 6月14日 和歌山市立実地試験(和歌山市立西試験)も県民文化会館(和歌山市立受験申込 4月12日～4月19日)美容師(学科試験)5月10日(消印有効)の間に住所地を所轄する保健所へ。くわしくは各保健所または県環境衛生課へ。

●**高圧ガス製造保安責任者**

および販売主任者試験 試験日・場所 5月30日、県立和歌山工業高校(和歌山市)と東牟婁総合庁舎大會議室(新宮市)

●**理容師・美容師試験**

試験日・場所 6月14日 和歌山市立実地試験(和歌山市立西試験)も県民文化会館(和歌山市立受験申込 4月12日～4月19日)美容師(学科試験)5月10日(消印有効)の間に住所地を所轄する保健所へ。くわしくは各保健所または県環境衛生課へ。

●**総合診断の円形プロフィール**

テストが終わったら、下記の記入方法に従って、各テスト種目ごとに書き込みます。

●**家庭のひろば**

家庭のひろば ファミリーブラザ 家庭のひろば ファミリーブラザ 家庭のひろば ファミリーブラザ 家庭のひろば ファミリーブラザ

敏捷性テスト

●**ジャンプ・ステップ テスト**

20cmの厚さの雑誌の上に立ち、両足をそろえて、前足をかえ、もとの姿勢にもどる。二十秒で何回できますか。

●**立ち幅とび**

両足をそろえて立ち、前に回ひざのまげのばしができますか。

●**ひざ全屈伸(足腰の筋力)**

腰をまげずに二十秒間に何回ひざのまげのばしができますか。

●**筋力テスト**

腹筋の一動作が一秒くらいの速さで何回できますか。

●**柔軟性テスト**

●**立位体前屈**

ひざをのばしたまま、体を前に行なうままでいきます。

●**上体そらし**

うつ伏せの姿勢から体をそらし三秒間とめ、床からあごまでの距離を図る。

●**平衡性テスト**

眼をとじ、起き足で立って、何秒間じっとしていられますか。(注)姿勢をくずさない。目をあけない。

●**閉眼片足立ち**

足で立って、何秒間じっとしていられますか。(注)姿勢をくずさない。目をあけない。

●**踏台昇降**

台(三十五cmくらい)に図のように二秒一回の割で昇降の記入方法に従って、各テスト種目ごとに書き込みます。

●**持続性テスト**

●**踏台昇降**

台(三十五cmくらい)に図のように二秒一回の割で昇降し、三分間(九十回)つづけ、一分間休んでから三十秒間の脈拍を数える。(最高血圧150以上の人にはさけて下さい)。

●**耐久性テスト**

一分間休んでから三十秒間の脈拍を数える。(最高血圧150以上の人にはさけて下さい)。

●**総合診断の円形プロフィール**

●**家庭のひろば**

家庭のひろば ファミリーブラザ 家庭のひろば ファミリーブラザ 家庭のひろば ファミリーブラザ 家庭のひろば ファミリーブラザ

総合診断の円形プロフィール

●**心身障害者児歯科診療センターを開設します**

県では、ミカン農家の経営安定期の切り札として五十年代から助成を行なって、本県で育成された極早生ミカンのエース宮本早生の产地づくりに取り組んでいます。そしてその一環として、果実の表面に斑紋ができる俗に「トマカッキ」という恐ろしいウイルス病から宮本早生を守るために

お問い合わせ

640和歌山市小松原通1-1 (0734) 32-4111

職業訓練生(経理事務科)を募集します

訓練期間・場所 5月1日～10月31日、和歌山経理専門学校(和歌山市北野)

対象・定員

- ・同和対策対象地
- ・共職業安定所長の受講指導を受ける方(二十人)
- ・雇用保険の給付を受けている方で公共職業安定所長の受講指導を受けられる方(二十人)
- ・申込期限は4月20日までに最寄りの公共職業安定所へ。

宮本早生ミカンのウイルス病に注意を!

県では、ミカン農家の経営安定期の切り札として五十年代から助成を行なって、本県で育成された極早生ミカンのエース宮本早生の产地づくりに取り組んでいます。そしてその一環として、果実の表面に斑紋ができる俗に「トマカッキ」という恐ろしいウイルス病から宮本早生を守るために

「母の願い」がかなう道です
和歌山市 小坂登至子

六十谷駅で降りにぎやかな商店街や新興住宅街をぬけます。昔ながらの田舎の風景がひるがっていきました。おばさんたちが大勢足早くに山に向かって歩いています。何かあるのかな。

道はゆるやかだけど、ずっと登り坂。もう汗ぐっしょり。道端にフリー・ジアや青菜、カブなどを盛った無人販売所があって、お参りの人が買っています。やっと行者堂に着きました。盛んにゴマを焚いてご祈祷しています。あつ、そうだ、今日は七日。私の受験の頃、母がよくお参りしていた役の行者堂の縁日だったのです。母親の願いを一つだけかなえてくれるそうで、いつの時代でも子のために祈る母の心は変わらないようです。行者堂を過ぎると、もう人影のない急坂です。ふうふう言いながら山頂へ、わあ、きれい。春がすみの向こうに和歌浦湾や淡路島が。そして淡いリボンのように、紀の川がひとすじ、うねっています。さわやか気分いっぱいの春のハイキングでした。(レポートは地元のフレッシュな女性です。あなたも歩いてみては)

兵藤秀子さんに聞く
オリエンピックメダリスト

前畠ガングレの声援のもと、昭和11年のベルリンオリンピックでは平泳ぎ200メートルで優勝。昭和47年には県スポーツ栄誉賞を受賞した。また、このたびスポーツ功労者として県のスポーツ殿堂入りが決定。橋本市出身で現在は岐阜県岐阜市にお住まいである。

水泳一筋六十年
館小ホールにおける県民シンボジウム「生かそう老後の活力」に講演のため里帰りされた兵藤(旧姓前畠)秀子さん
兵藤秀子 いえいえ、自分で直感インタビュー。

去年3月4日の県民文化会
去る3月4日の県民文化会

水泳一筋六十年
館小ホールにおける県民シンボジウム「生かそう老後の活力」に講演のため里帰りされた兵藤(旧姓前畠)秀子さん
兵藤秀子 いえいえ、自分で直感インタビュー。

おも年をとったなあ——と、気持ちだけは変わりません。ベ

歩むことができること、そし

「母の願い」がかなう道です
和歌山市 小坂登至子

六十谷駅で降りにぎやかな商店街や新興住宅街をぬけます。昔ながらの田舎の風景がひるがっていきました。おばさんたちが大勢足早くに山に向かって歩いています。何かあるのかな。

道はゆるやかだけど、ずっと登り坂。もう汗ぐっしょり。道端にフリー・ジアや青菜、カブなどを盛った無人販売所があって、お参りの人が買っています。やっと行者堂に着きました。盛んにゴマを焚いてご祈祷しています。あつ、そうだ、今日は七日。私の受験の頃、母がよくお参りしていた役の行者堂の縁日だったのです。母親の願いを一つだけかなえてくれるそうで、いつの時代でも子のために祈る母の心は変わらないようです。行者堂を過ぎると、もう人影のない急坂です。ふうふう言いながら山頂へ、わあ、きれい。春がすみの向こうに和歌浦湾や淡路島が。そして淡いリボンのように、紀の川がひとすじ、うねっています。さわやか気分いっぱいの春のハイキングでした。(レポートは地元のフレッシュな女性です。あなたも歩いてみては)

兵藤秀子さんに聞く
オリエンピックメダリスト

前畠ガングレの声援のもと、昭和11年のベルリンオリンピックでは平泳ぎ200メートルで優勝。昭和47年には県スポーツ栄誉賞を受賞した。また、このたびスポーツ功労者として県のスポーツ殿堂入りが決定。橋本市出身で現在は岐阜県岐阜市にお住まいである。

水泳一筋六十年
館小ホールにおける県民シンボジウム「生かそう老後の活力」に講演のため里帰りされた兵藤(旧姓前畠)秀子さん
兵藤秀子 いえいえ、自分で直感インタビュー。

去年3月4日の県民文化会
去る3月4日の県民文化会

水泳一筋六十年
館小ホールにおける県民シンボジウム「生かそう老後の活力」に講演のため里帰りされた兵藤(旧姓前畠)秀子さん
兵藤秀子 いえいえ、自分で直感インタビュー。

おも年をとったなあ——と、気持ちだけは変わりません。ベ

歩むことができること、そし

「母の願い」がかなう道です
和歌山市 小坂登至子

六十谷駅で降りにぎやかな商店街や新興住宅街をぬけます。昔ながらの田舎の風景がひるがっていきました。おばさんたちが大勢足早くに山に向かって歩いています。何かあるのかな。

道はゆるやかだけど、ずっと登り坂。もう汗ぐっしょり。道端にフリー・ジアや青菜、カブなどを盛った無人販売所があって、お参りの人が買っています。やっと行者堂に着きました。盛んにゴマを焚いてご祈祷しています。あつ、そうだ、今日は七日。私の受験の頃、母がよくお参りしていた役の行者堂の縁日だったのです。母親の願いを一つだけかなえてくれるそうで、いつの時代でも子のために祈る母の心は変わらないようです。行者堂を過ぎると、もう人影のない急坂です。ふうふう言いながら山頂へ、わあ、きれい。春がすみの向こうに和歌浦湾や淡路島が。そして淡いリボンのように、紀の川がひとすじ、うねっています。さわやか気分いっぱいの春のハイキングでした。(レポートは地元のフレッシュな女性です。あなたも歩いてみては)

兵藤秀子さんに聞く
オリエンピックメダリスト

前畠ガングレの声援のもと、昭和11年のベルリンオリンピックでは平泳ぎ200メートルで優勝。昭和47年には県スポーツ栄誉賞を受賞した。また、このたびスポーツ功労者として県のスポーツ殿堂入りが決定。橋本市出身で現在は岐阜県岐阜市にお住まいである。

水泳一筋六十年
館小ホールにおける県民シンボジウム「生かそう老後の活力」に講演のため里帰りされた兵藤(旧姓前畠)秀子さん
兵藤秀子 いえいえ、自分で直感インタビュー。

去年3月4日の県民文化会
去る3月4日の県民文化会

水泳一筋六十年
館小ホールにおける県民シンボジウム「生かそう老後の活力」に講演のため里帰りされた兵藤(旧姓前畠)秀子さん
兵藤秀子 いえいえ、自分で直感インタビュー。

おも年をとったなあ——と、気持ちだけは変わりません。ベ

歩むことができること、そし

「母の願い」がかなう道です
和歌山市 小坂登至子

六十谷駅で降りにぎやかな商店街や新興住宅街をぬけます。昔ながらの田舎の風景がひるがっていきました。おばさんたちが大勢足早くに山に向かって歩いています。何かあるのかな。

道はゆるやかだけど、ずっと登り坂。もう汗ぐっしょり。道端にフリー・ジアや青菜、カブなどを盛った無人販売所があって、お参りの人が買っています。やっと行者堂に着きました。盛んにゴマを焚いてご祈祷しています。あつ、そうだ、今日は七日。私の受験の頃、母がよくお参りしていた役の行者堂の縁日だったのです。母親の願いを一つだけかなえてくれるそうで、いつの時代でも子のために祈る母の心は変わらないようです。行者堂を過ぎると、もう人影のない急坂です。ふうふう言いながら山頂へ、わあ、きれい。春がすみの向こうに和歌浦湾や淡路島が。そして淡いリボンのように、紀の川がひとすじ、うねっています。さわやか気分いっぱいの春のハイキングでした。(レポートは地元のフレッシュな女性です。あなたも歩いてみては)

兵藤秀子さんに聞く
オリエンピックメダリスト

前畠ガングレの声援のもと、昭和11年のベルリンオリンピックでは平泳ぎ200メートルで優勝。昭和47年には県スポーツ栄誉賞を受賞した。また、このたびスポーツ功労者として県のスポーツ殿堂入りが決定。橋本市出身で現在は岐阜県岐阜市にお住まいである。

水泳一筋六十年
館小ホールにおける県民シンボジウム「生かそう老後の活力」に講演のため里帰りされた兵藤(旧姓前畠)秀子さん
兵藤秀子 いえいえ、自分で直感インタビュー。

去年3月4日の県民文化会
去る3月4日の県民文化会

水泳一筋六十年
館小ホールにおける県民シンボジウム「生かそう老後の活力」に講演のため里帰りされた兵藤(旧姓前畠)秀子さん
兵藤秀子 いえいえ、自分で直感インタビュー。

おも年をとったなあ——と、気持ちだけは変わりません。ベ

歩むことができること、そし

